

平成30年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：平成 30 年 9 月 27 日（木） 11：00～16：30

会 場：大阪大学東京オフィス

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、八木 實（理事・会長）、山高篤行（理事・副会長）、奥山宏臣、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、橋詰直樹（庶務委員補佐）、浦尾正彦（財務会計補佐）、松藤 凡（第 34 回秋季シンポジウム会長）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、小野 滋（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員会委員長）、内田恵一（学術・先進医療検討委員会委員長）、村上 聡、仁田尾慶太（以上事務局）

欠席者：米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長・利益相反委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、山高篤行理事、臼井規朗理事とした。
2. 平成30年度第1回臨時理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第 56 回学術集会について（八木会長、橋詰庶務委員補佐）

八木会長および橋詰庶務委員補佐より資料に基づき、プログラム等について報告・提案され、承認された。

- ・Travel Grantsについては、原則として海外在住でということ盛り込むこととした。
- ・二重発表について、日本外科学会に準じて演題フォームに盛り込むこととした。
- ・特別企画について、小児期外科系関連学会協議会から依頼があり、内容について今後検討していくこととなった。
- ・海外名誉会員のPatricia K. Donahoe先生のビデオレターについては、評議員懇親会の時にJames B. Atkinson先生からコメントをもらう時に続いて流すこととした。

日時：平成 31 年 5 月 23 日（木）、24 日（金）、25 日（土）

会場：久留米シティプラザ

テーマ：継往開来～小児外科学の継承と発展～

2) 第 57 回学術集会について（山高副会長）

山高副会長より資料に基づき、日程や会場、テーマ、プログラム等が提案され、承認された。

日時：平成 32 年 5 月 21 日（木）、22 日（金）、23 日（土）

会場：都市センターホテル

テーマ：子どもが最初、いつだって

3) 第34回秋季シンポジウムについて（松藤秋季シンポジウム会長）

松藤秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、了承された。今年の秋季シンポジウムは理事会の会場に続けて行う。また、昼食を必要とする委員会は個人で負担してもらうことが確認された。

日時：平成30年10月27日（土）

会場：聖路加国際大学

テーマ：総排泄腔異常

4) 庶務委員会審議事項（藤野委員長）

藤野委員長より資料に基づき、WebEX使用規定について変更内容を各委員長に確認した上で、以下の点が変更になると説明があり、承認された。

・グーグルカレンダーからまず予約状況を確認してからWebExにログインして予約を取るという作業を削除し、WebEXにログインして予約状況を確認する。

5) 財務会計委員会審議事項（浦尾補佐）

浦尾財務会計補佐より資料に基づき、NPO法人から一般社団法人への移行について説明がされた。NPO法人の解散は財産が無くなってから行うため、事業別の収支を試算し、黒字事業については一般社団法人に、赤字事業についてはNPO法人に振り分ける作業を行っている。一般社団法人の定款案では理事の人数がNPOの理事の人数より多いが、NPO法人が解散するまでは理事の人数はNPOの人数で進めることが承認された。

6) 各種委員会審議事項

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より資料に基づき、HP改定のデザイン案が2パターン提示され、案2で進めることが承認された。写真については継続審議とし、次回理事会以降に再度提出することとした。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

・オメガベンの保険適応を目標にした活動が、東北大学の和田基先生を中心に継続されている。2011年に日本小児外科学会保険診療委員会、日本外科学会を通じて「第2回医療上必要性の高い未承認薬・適応外薬」（資料2）に応募したが、不調に終わった。今回、新たに米国で小児静脈栄養関連胆汁鬱滞における栄養補給、用法用量は1g/kg

として承認されたので、これに合わせて、再度「医療上必要性の高い未承認薬・適応外薬」として厚生労働省に要望を提出する。

なお配合脂肪乳剤 SMOF lipid についても、欧州では小児も適応があり、ガイドラインにおける推奨もあるので、合わせて要望する予定である。

厚生労働省での次回（11月～12月に開催予定）の未承認薬検討会議に要望書式を作成し要望する。

（4）教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・第 35 回日本小児外科学会卒後教育セミナー及び第 10 回日本小児外科学会内視鏡手術セミナーについて

卒後教育セミナーは連続 3 回（3 年間）のセミナーで 1 シリーズを構成しており、今回は第 2 回となり「肝・胆道疾患」「新生児疾患」をメインテーマに開講し、その他にトピックスの講義を設ける予定である。現在、講師陣決定について次回理事会開催前を目処に進めている。

内視鏡手術セミナーについては、例年通り①噴門形成または脾臓摘出、②基礎的な内視鏡手術の二本立てを予定している。

両セミナーの会告第 1 報を『日本小児外科学会雑誌』54 巻 6 号（2018 年 10 月 20 日公開）で通知、詳細情報については、次号以降随時掲載予定である。

- ・小児外科卒前教育アンケートについて

各大学の医学部長宛に郵送予定であり、秋季シンポジウム終了後に学会 website が再構築される予定である為、その後のタイミングで郵送を行う予定である。

（5）悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・新学会登録システムについての原稿の作成が終了し、日本小児外科学会雑誌 10 月号に掲載予定である。

（6）学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされ、承認された。HP 掲載前の段階で理事会に提出し、確認することとした。

- ・学会 HP の「小児外科で治療する病気」の改訂について

疾患に関しては、A-G で評価を行った。尚、F は削除項目であり、用語集はすべて削除した。

担当では、動脈管開存は春本先生、臍ヘルニアは大塩先生に依頼する。それ以外は、軽微の修正が必要な疾患は委員で行い、大幅な改変が必要な 19 疾患（D,E,G）は委員会などの業務を行っていない評議員に依頼する予定である。

依頼文・執筆要綱を作成し、諾・否を確認していく。依頼文中には HP 上には作成担

当者の名前は出ないことを明記し、作成された文章は当委員会で査読を行う。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされ、承認された。

- ・東京大学小児外科藤代先生による虫垂炎についての研究について、JPS (PAPS issue) に投稿するも reject され、World Journal of Surgery 誌に投稿を行う。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされ、承認された。

- ・災害対策マニュアルの改訂や訓練

前回は行った訓練については、単なる災害対策本部立ち上げの確認のみであったため、今後、状況を設定し、対処を行うところまでを訓練する。

- ・PALS 講習会の今後

広報活動を十分に行い、申し込みも HP からと容易になったが、参加者 3 名であった。

PALS 講習会の継続について、来年の日程：2019 年 9 月 21 日～23 日 (BLS+PALS)、

場所：インストラクターの関係でやはり東京、受講料：初回受講の学会員のみに対して、5000 円/人の学会から補助を継続することとなった。

(10) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(11) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・臨時評議員会・臨時総会で諮る予定の委員会規則の最終文章が提出された。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・演題応募時の倫理規定に関して、日本外科学会が今年の代議員会で来年の演題募集で倫理的手続きを進めることになったため、それにならって本学会としては来年の第 56 回学術集会で周知を行い、再来年の第 57 回学術集会の時に演題募集時の倫理手続きを進めることとした。

(14) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされ、一部承認された。

- ・9月12日に第25回NCD運営委員会が開催され、NCD運用管理規程（情報セキュリティが中心）と、NCD登録可能期間終了後症例修正指針が作成されたと報告があり、内容について本学会で承認され、NCDに伝えることとした。
- ・NCD連絡委員会補佐募集について、募集によって生じると予想される問題点が上げられ、データのセキュリティ上の問題が生じた際には、領域学会にも責任の一端を負うこと、研究発表の際には当該研究者の肩書に東京大学医療品質評価学あるいは慶應義塾大学医療政策・管理学教室のどちらかの肩書を併記することを公募に際してNCDから要請されたと報告があり、総合調整委員会で検討を進めることとした。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされた。

- ・日本医学会連合第1回診療ガイドライン統括委員長会議が8月16日に開催され、学会横断的な診療ガイドライン作成の現状が報告された。診療ガイドライン作成は学会主体の活動であることが前提で、そこに厚労科研などの組織の協力がある場合もある、というのが現状であること、その点日本小児外科学会の診療ガイドライン作成は研究会が主体の特殊な状況であり、本学会でも学会主導の診療ガイドライン作成の検討をしてはどうかと提案がされた。

ガイドラインが作成されていない領域・疾患、研究会がない領域、研究会で作成が進んでいないもの等をリストアップして総合調整委員会で検討の上、理事会に提案することとした。

7) 選挙管理委員会審議事項（藤野委員長）

藤野委員長より資料に基づき、9月1日時点の有権者が決定したこと、委員会で模擬選挙を行い問題無く動作したと報告された。評議員選挙の日程については前回報告してからの変更は無く、臨時評議員会・臨時総会で定款施行細則の改定が承認後に評議員選挙の公示を行い進めていくと報告され、承認された。

8) 専門研修カリキュラム整備基準について（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、第55回学術集会時の評議員会において説明された専門研修カリキュラム基準からの変更点が報告された。まず、初期臨床研修期間中に、小児外科専門研修施設群の施設で経験した症例(NCD小児外科領域に登録されていることが必須)は、遡って手術症例数に算定することができない点、小児外科関連の内容の論文発表1編（筆頭著者）を必須とする点の変更になったと報告された。上記内容を更新された専門研修カリキュラム整備基準を日本外科学会に提出し、承認され、本理事会終了後に専

門医機構に提出することとなった。秋の臨時評議員会・臨時総会で春の評議員からの変更点について説明を行う。

9) 臨床効果データベース整備事業について（山高データベース委員会担当理事）

山高データベース委員会担当理事より資料に基づき、今までの背景等が説明され、臨床効果データベース整備事業の構築が完了したと報告された。また、データベース関連で日本周産期・新生児医学会関係で進めているプロジェクトに学会としてサポートするか検討してはと意見が上がった。

10) 日本医学会 129 分科会の医学雑誌編集と COI 管理にかかるアンケート調査について（越永理事長、奥山機関誌委員会担当理事）

越永理事長、奥山機関誌委員会担当理事より資料に基づき、日本医学会から日本医学会 129 分科会の医学雑誌編集と COI 管理にかかるアンケート調査の依頼があり、機関誌委員会と利益相反委員会で回答案を作成したと報告された。一部回答案を修正の上、提出することとした。なお、雑誌に関するアンケートについては日本小児外科学会雑誌と・**Pediatric Surgery International** と別にして回答することとし、提出した回答を次回理事会上に報告することとした。

11) 内閣官房健康・医療戦略室からの依頼について（越永理事長）

越永理事長より資料に基づき、日本医学会連合を通じて内閣官房健康・医療戦略室から次期の健康・医療戦略、医療分野の研究開発計画検討にあたって、健康寿命の延伸に必要な取り組みの依頼が求められていると報告がされた。各委員会（評議員として）にはメールで、一般会員には学会 HP 上で 9 月末を締切として意見を求めていることが説明され、庶務委員長が取りまとめた上で、回答案をメール審議で承認の上、提出することとした。

12) その他

(1) 高難度リスト再見直しについて（野田理事）

野田理事より資料に基づき、8 月に行われた平成 30 年度第 1 回医療安全管理委員会の報告として、小児外科からは小腸移植について高難度に入っているため、採取も追加したと報告がされた。リストの見直しは 10 月までのため、意見があれば野田理事まで伝えることとした。また、医療事故外部委員として学会から推薦依頼が来た場合の対応について検討されたと報告があり、本学会の対応としては、依頼があった際は推薦した委員の実名が出るのかどうかを依頼元に確認してから、推薦を行うことが確認された。

4. 報告事項

1) 専門医制度委員会報告（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長、村上事務局）

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長、村上事務局より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

- ・日本専門医機構からの返事が無いため、新専門医制度の規則については、秋の臨時評議員会・臨時総会では提出しないこととし、現行の専門医制度規則についての改定（学術経験や業績、議決権について）を諮ることとする。
- ・本理事会で出た専門医制度諸規則の修正点を事前に理事会MLで確認してから、10月9日の総合調整委員会の時間を使って、再度審議を行う。また、10月9日の臨時理事会で承認後に、評議員・名誉会員・特別会員には事前に内容を確認してもらうこととする。
- ・選挙で選ばれている専門医制度委員会と理事会の立ち位置について、現行のままでいいのか、検討を進めることとした。
- ・専門医制度システム構築に関して、今年いっぱい完成を予定しており、現状530万円、ランニングコストは13万円ほどかかる見込みで、費用の削減を努めるため不要な機能の精査を進める。

2) 理事長報告（越永理事長）

- (1) 第1回メール審議報告（日本小児外科学会認定施設および教育関連施設における救急受け入れ状況について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (2) 第2回メール審議報告（学会が保有するデータを用いた臨床調査研究申請に係る利益相反（COI）自己申告書について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (3) 第3回メール審議報告（先天性食道閉鎖症術後の実態に関する全国アンケート調査について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (4) 第4回メール審議報告（遺伝学用語改訂に関するアンケートについて）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (5) 第5回メール審議報告（2019小児外科 NCD 新規術式追加案について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (6) 第6回メール審議報告（NCD データ利用研究の公募の審査について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (7) 第7回メール審議報告（日本小児外科学会が収集した臨床データの取扱いに関する規程内規の改訂について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (8) 第8回メール審議報告（第23回公益社団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウム後援名義について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (9) 第9回メール審議報告（第56回学術集会の上級演題、要望演題内容について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (10) 第10回メール審議報告（「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班急性肝不全の全国調査について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (11) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「気管切開術早期の気管切開チューブ逸脱・迷入に係る死亡事例の分析」を受領した。
- (12) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「「がんばれ！」 vol.169」を受領

した。

(13) 難病医学研究財団からの寄贈本「難病研究財団ニュース No.48」を受領した。

(14) 日本医学会からの寄贈本「日本医学会分科会一覧」を受領した。

(15) 日本小児血液・がん学会からの通信文「理事長就任のお知らせ」を受領した。

(16) 日本乳癌学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。

(17) 日本医療研究開発機構からの通信文「AMEDにおける周産期・子ども領域の研究の推進について」を受領した。

(18) 日本専門医機構からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。

(19) 日本外科学会倫理委員会からの通信文「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針（+DVD）」を受領した。

(20) 日本小児科医会からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。

(21) 日本医学会からの通信文「日本医学会シンポジウムの開催について（案内）」を受領した。

(22) 日本医師会からの通信文「平成30年度日本医師会医学賞ならびに医学研究奨励賞受賞者決定の報告について」を受領した。

(23) 日本医学会からの通信文「MID-NETの利活用に係る利用料について」を受領した。

(24) 日本医学会からの通信文「MID-NETの利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて」を受領した。

(25) 日本医学会からの通信文「MID-NETの利活用における予備的調査の実施要綱について」等の一部改正について」を受領した。

(26) 日本医学会からの通信文「MID-NETの利活用の初期段階における基礎的検討の実施要綱について」を受領した。

(27) 日本小児期外科系関連学会協議会からの通信文「豪雨内閣府防災会議資料」を受領した。

(28) 日本医学会からの通信文「人生の最終段階における医療・ケアに関するリーフレットについて」を受領した。

(29) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の施行等に関するQ&Aについて（その4）」を受領した。

(30) 日本医学会からの通信文「介護医療院創設に伴う死亡診断書（死体検案書）の様式改訂について」を受領した。

(31) 日本医学会連合からの通信文「連携フォーラム共催事業案内について」を受領した。

(32) 日本医学会からの通信文「神経麻酔分野の小口径コネクタ製品の切替えに関するPMDA医療安全情報の発行について」を受領した。

(33) CIN 国土班患者レジストリ及びコホート研究調査事務局からの通信文「AMED CIN 推進支援事業の公募のご案内」を受領した。

(34) 日本医学会からの通信文「ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（悪性胸膜中皮腫）の作成及び最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌，悪性黒色腫，頭頸部癌，腎細胞癌，古典的ホジキンリンパ腫及び胃癌）の一

部改正について」を受領した。

(35) 日本医学会からの通信文「デュルバルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌）について」を受領した。

(36) 日本医学会連合からの通信文「平成 30 年度 女性医師支援担当者連絡会の開催について」を受領した。

(37) 「日本外科学会平成 30 年度第 5 回理事会資料、議事録」を受領した。

(38) 「外科医の労働時間短縮のための制度創設の要望」を受領した。

(39) 「6 サブスぺ会議資料」を受領した。

(40) 「平成 30 年度第 1 回日本外科学会専門医制度委員会資料、議事録」を受領した。

(41) 日本医学会連合からの通信文「日本医学会連合だより発刊のお知らせ」を受領した。

(42) 「第 186 回日本小児医療保健協議会議事録」を受領した。

3) 総合調整委員会報告（田尻委員長）

田尻委員長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告がなされた。

- ・ 専門医制度関連
- ・ 学会会員システムの再構築について
- ・ NCD を含む学会が保有するデータを利用した研究の諸問題
- ・ 学術集会演題の倫理規定について
- ・ 卒前・後教育を含む学生、若手医師のリクルート・育成のための具体的方策
- ・ 周産期臨床研究コンソーシアムについて

4) 庶務委員会報告（藤野委員長）

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2018 年 8 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,820 名（うち海外 2 名）、評議員 314 名、名誉会員 55 名（うち海外 7 名）、特別会員 69 名（うち海外 1 名）の合計 2,258 名である。

5) 財務会計委員会報告（浦尾補佐）

浦尾補佐より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

6) 各種委員会報告

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

- ・ 直近の投稿論文の採択状況（2018.5-8 月）
新規投稿 31 編、採択 30 編、不採択 3 編
- ・ 転載許可申請が 5 件あり、全て許可とした。
- ・ 「臍輪」の定義について、「日本小児外科学会雑誌おける「臍輪」の使用状況—他誌との比較—」として、本誌に委員会報告として 54 巻 6 号（2018 年 10 月号）に掲載す

ることになった。

・PSI Publication Committee より、ラオスから投稿された以下の論文が、PSI への掲載は難しいが、ラオスの新生児外科診療の現状を知る上で貴重な内容であるため、日本小児外科学会雑誌に掲載できないか検討してほしい、という依頼があった。検討の結果、ラオスの現状に詳しい窪田昭男先生に前文を書いていただき、編集者への手紙として、54 巻 7 号（2018 年 12 月号）に掲載することになった。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(6) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事、内田委員長）

臼井担当理事、内田委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

・2018 年学術集会より、6 演題選定し、9 月中旬に HP のビデオライブラリーにアップした。

・日本小児外科学会認定施設および教育関連施設における救急受け入れ状況に関するアンケート調査、先天性食道閉鎖症術後の実態に関する全国アンケート調査、急性肝不全の全国調査について、委員会の審議を経て、理事会で承認されたと報告がされた。

・小児医薬品開発ネットワーク国際シンポジウム

6 月 30 日に小児医薬品評価・小児薬理国際シンポジウムが開催され、国がようやく小児医療に意識を持ち始め好機であると感じているようで、本学会としても日本小児科学会に協力しつつ活動を注視すべきであるという印象。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

・会員からの公募案件の審査終了と申請者への通知を実施した。

・「NCD データを利用した複数領域にまたがる新規研究課題の公募」の学会内周知を

行った。

・学会ウェブサイトにおけるデータベース委員会と NCD 連絡委員会のコンテンツ分割作業の完了と、臨床効果データベース整備事業についての情報を掲載した。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

・第 8 回小児救急セミナー

平成 31 年 5 月 24 日（金）17:40～18:40 第 56 回学術集会期間二日目に開催予定。

テーマ：「熱中症」と「アナフィラキシーショック」

「熱中症」：長井孝二郎先生（久留米大学医学部小児科学講座）

「アナフィラキシーショック」：岡松由記先生（飯塚病院小児科）

・災害対策マニュアルを元に、災害対策本部立ち上げ訓練

平成 30 年 7 月 20 日（金）18:10'saigai_jsps@asas-mail.jp'によって、災害対策本部構成員全員に一斉メールした。メール後 10 分で本部立ち上げ完了。

(10) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

・ワークライフバランス検討委員会 第 6 回講演会について

日時：平成 30 年 10 月 26 日（金）16:30-17:30

場所：聖路加国際大学本館 第 1 会場 アリス・C・セントジョンメモリアルホール

講師：株式会社イーウーマン代表取締役社長 佐々木かをり氏

演題名：「ダイバーシティ」が成長のキーワード

～医療も職場も。多様性が導く明日と新しい発想～

「平成 30 年度 医学生、研修医をサポートするための会」日本医師会共催を申請中、共催となれば上限 20 万円までのサポートあり。

ポスター作成し、事前配布を検討（関東甲信越地方会？QOL 研究会？）。

会場の収容人数 380 人、できるだけ多くの会員及び医学生の参加を呼びかける。

(11) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

白井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

- ・テスト Audit を NCD 連絡委員会委員の所属する 2 施設で Site visit を行い、実際に Audit を行うための準備を進めている。今年度中に 4 施設で Audit を行うべく準備を進めている。

- ・NCD-P 入力時の新・術式検索システムを作成し、9 月 4 日に実装された。

- ・医療品質評価：リスクカリキュレーターに関して、今秋の論文投稿を目指し、来春に実装を計画している。

- ・2019 年の新 NCD 術式の追加・修正に関して、各領域からの希望が出そろい、各領域に配信された。9 月 30 日が締め切りのため、現在 NCD 連絡委員会内で検討中である。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

7) 次回臨時理事会日程の確認（越永理事長）

次回臨時理事会は平成30年10月9日（火）17：00～17：20 京都府立医科大学と各施設でのWeb会議にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____